

# とっとり 県議会だより

令和6年2月定例会  
(2024)

No.048

Feb.  
2月  
議会

主な記事 Contents

代表質問	2~3p
一般質問	4~7p
常任委員会活動	8p
議決結果	9~11p
特別委員会	12p
お知らせ	12p



内装 (セミコンパートメント)

## 2月定例会の概要 (2月21日～3月22日)

開会日の2月21日に、平井知事から、総額3,604億円余の令和6年度鳥取県一般会計予算など70議案が提案されました。また3月11日に、委員の選任など11議案が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党と会派民主の2会派が行い、一般質問には22名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

### 議決の状況

#### 【知事提出議案】

- |       |         |        |         |
|-------|---------|--------|---------|
| ◎予算議案 | 《可決33件》 | ◎条例議案  | 《可決21件》 |
| ◎人事議案 | 《同意11件》 | ◎その他議案 | 《可決16件》 |

#### 【議員提出議案】

- |     |        |       |        |
|-----|--------|-------|--------|
| ◎条例 | 《可決1件》 | ◎会議規則 | 《可決1件》 |
|-----|--------|-------|--------|

【陳情】 《不採択5件》

### 表紙の写真

#### 特急やくも号 新型車両デビュー

県西部と岡山県を繋ぐ、特急やくも号の新型車両が、令和6年4月6日から運行開始となりました。

特急やくも号は、新型コロナウイルス感染症の影響で平日(月～木)のダイヤが3往復減便されていましたが、3月のダイヤ改正により、全日とも以前の運行本数に復活しました。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページをご覧ください。

# 代表質問

鳥取県議会自由民主党



鳥谷 龍司 議員  
選挙区 鳥取市



## 能登半島での震災を教訓に

**問** 元日の能登半島地震では、道路損壊や液状化など半島部の災害脆弱性が顕著に見られた。港湾など沿岸部は海底隆起で接岸できず、中山間地域で高齢者が多いため自助・共助が十分機能せず、人命救助や支援助資輸送にも支障があり、必要な避難所の設置も遅れたとされる。このたびの災害特性を踏まえて本県の災害対策にどう反映していくのか。

**答** 道路の寸断で孤立集落が多数発生し7万棟近い家屋被害や10万世帯を超える断水もあった。亡くなった方は倒壊家屋の下敷きによる圧死や低体温症が多く、初動で早く人命救助に入ることが重要。防災情報システムを導入して被害情報を地図と時間経過で把握しな

がら救援・捜索できる態勢を構築したい。東中西の防災拠点に加え北栄町に後方支援拠点をつくる発想や、災害対策本部のほかに国・市町村、自衛隊や消防と情報共有する場を設ける必要がある。避難所では衛生環境を保ちながら人に合わせたケア体制のほか、要支援者受入れの2次避難所も平時から確保するなど、いろんな手立てで避難を促し被災状態から脱却していただいて、災害関連死を防ぎたい。

## 孤独・孤立を防ぐ支え愛社会

**問** 国会で昨年5月に孤独・孤立対策推進法ができる前に、本県では全国初の条例化を実現した。家庭環境など様々な悩みや困難を抱え社会とのつながりを自ら拒絶する状況を生まないよう、家族を含めた一体的な支援が必要。県民への浸透を図り、絆で結ばれた地域社会の力を再興させるきつかけにもしていただきたい。

**答** 本県の孤独・孤立を防ぐ温もりある支え愛社会づくり推進条例は、ヤングケアラーや高齢者、障

がい者などアウトリーチでなければ解決できない福祉の課題に対して包括的・重層的に新たな発想で取り組もうとする考え方がベースにある。試行錯誤はあるが絆の力を再構成するよう新年度に向けて更に強化していきたい。

## 教育振興基本計画の改定方針

**問** 鳥取県教育振興基本計画の改定に取り組まれる上での思いは。

**答** (教育長) これまで新型コロナウイルスや自然災害など子どもたちを取り巻く環境は大きく変化している。自分や他者の命を大切に、違いを認め合いながら、誰一人取り残さない学びの充実を理念として、ふるさと鳥取に愛着と誇りをもち続ける人材を育む教育行政となるよう取り組みたい。

## 県民の期待に応える警察行政

**問** 鳥取県警察70年の歩みは警察職員の崇高な理念と行動で県民の安全・安心を念頭に治安維持のため取り組まれた歴史。県民の期待に応える警察に向けた思いは。

**答** (警察本部長) 現状、刑法犯認知件数が3年連続、交通事故件数は19年ぶりに増加したほか、令和5年の特殊詐欺被害は件数・額とも過去最多で大変深刻。社会情勢の変化を踏まえ、県民の理解・協力を得ながら警察の責務を果た

すよう危機感を持って取り組みたい。

## 鳥取港の利活用と圏域活性化

**問** 鳥取港は国の重要港湾であり災害有事に海上輸送の受入港として機能するよう整備・利活用を図るべき。また、「海業」の取組展開による漁港振興をどう考えるか。

**答** 鳥取港は3号岸壁が耐震化され山陰近畿道の将来的な延伸を含め物資輸送の機動性を増す位置にある。内航路を端緒に利用者の組織化など貨物集約に取り組む。「海業」は漁業や観光など多角展開による漁村振興策で「かろいち」や「わったいな」など商業集積してきた賀露西浜地区がまさにモデル例。更なる横展開も応援したい。

## 関西圏との結び付き強化策

**問** 来年の大阪・関西万博などを念頭に関西圏と本県を結ぶ交通網の整備や観光・商工・農林水産業と連携した情報発信拠点となる関西本部の機能強化を図るべき。

**答** 大阪・関西万博は国内外から3千万人の来訪が見込まれ、そこからいかに本県にお連れするかが課題。関西本部を組織改正してこ入れし、観光・情報発信はもとより移住促進にも重きを置く。

# 代表質問

会派民主



興治 英夫 議員  
選挙区 倉吉市



## 能登地震の教訓 耐震化

**問** ①県内の上水道基幹管路の耐震化率は27%で、全国で下から4番目。耐震化の促進が必要②2000年の仕様見直し前の新耐震基準の住宅は、耐震強度ありとされているが、今回多く倒壊した。同住宅の耐震診断の呼びかけを。

**答** ①倉吉市が13%で4市の中でも低い。安全のための投資を優先するのが市町村でも考えてほしい。水道行政が国交省に移管されるので、支援を呼びかけたい②旧耐震基準住宅は耐震ケースマネジメントで、新耐震住宅はリフォームの際に、耐震化を進める。

## 物価上昇に見合った賃上げ

**問** ①物価上昇率を上回る持続的な賃上げと下請け企業も含めた適

切な価格転嫁が必要。受発注者間で、労務費、運送料等の増加分を適正に価格転嫁する交渉を行うことを、県として奨励してはどうか②賃上げ企業への投資経費補助金について、上限額引き上げなどの思い切った対応が必要だ。

**答** ①運送料の転嫁については、労使も含めてJAなど運送関係者と協議し、進めている。賃上げについては、初めて政労使会議を行い、適正に行うことで理解を深めた。価格交渉に応じない等の企業に対しては、公正取引委員会の権限行使に期待する②賃上げ企業への支援は、県の複数の事業の併用や、国事業の活用を組み合わせることにより、補助率や上限額の引き上げができることを、周知する。

## 歴史的資源活用で観光振興

**問** 県指定文化財の倉吉市の小川家は、文化財保存とともに観光庁の補助を受け、高多家と併せてレストラン、宿泊施設として活用される予定だ。このように県内の歴史的な建物を活用した観光まちづくりには、県の支援をお願いする。

**答** おっしゃるように歴史的資源を観光に利用するには、別の付加価値をつけなければいけない。観光庁、総務省の事業を紹介したり、県にも文化財や観光の事業もあるので、柔軟に支援させていただく。

## 県立美術館と文化観光振興

**問** 倉吉市や地域住民とともに美術館を核とした文化芸術のまちづくりには、県も伴走支援をお願いしたい。倉吉駅のデコレーション、美術館までの道にフラッグの掲示、ラッピングバスなど、倉吉市と連携して美術館オープンを盛り上げてほしい。I COCAエリアの拡大をとらえて、J Rと誘客キャンペーンを行ってはどうか。

**答** 美術館周辺の整備やモビリティによる周遊など、倉吉市の文化芸術のまちづくりに、県も協調する。オープンに向けて、地元で盛り上げていく提案をいただければ、しっかりと連携していく。誘客についてはJ Rともよく協議し、二次交通のバス路線も、キャッシュレス決済の導入を準備する。

## 水田活用交付金について

**問** 5年に1度の水張りルールの導入により、令和9年までに水張りを行えない農地については、交付金の対象から外される。飼料作

物、芝、そばなど水張りが困難な農地について、どう対応するのか。**答** 農水政務官に対して、立ち止まって現場に即した対策を求めたが、国の壁は厚い。新年度以降、地域ごとにどうするのかを議論する段階に入る。したたかに我々なりに検討しなければならぬ。

## 保育人材確保奨学金の充実

**問** 全国的に幼児教育学科を志す学生が減っている。保育人材を確保するため、県内就職すれば奨学金の返還を免除する保育士修学資金について、所得要件の対象を広げ、貸付金額の増加、国の給付型奨学金との併給を可能にすべき。

**答** 奨学金の見直しは重要なテーマだ。全面的に変えた方がいい。新年度の早いうちに協議し、学生募集が始まるまでに決めたい。

## 教員の不足対策について

**問** 関西会場教員採用試験の合格辞退者を減らすため、子どもの看護休暇の取得日数を増やしてはどうか。また定年延長を希望しない教員が4割いるので、介護休暇の取得年数を増やしてはどうか。

**答** (教育長) 知事部局も含めた関係機関と、看護休暇、介護休暇の拡充について検討している。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果

# 一般質問

2月定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

※掲載に時間がかかる場合があります。



鳥取県議会議事録



村上泰二郎

議員

選挙区 西伯郡  
会派 会派民主

## 米子道の割引拡大試行 深刻な教員不足の対策

**問** ①NEXCOの時間や曜日の指定がない通勤割引拡大試行が米子道でも行われるよう求めては②教員不足で教育という公共サービスが危機であり、首長や議員が責任を持って対応すべきでは。

**答** ①NEXCOに米子道も対象となるよう要請する。米子道も展開される射程に入っているのではないかと危機感現場とも共有している。学校の先生を育てるシステムが重要。鳥取大学の教員養成を正面からやることを求めるべきかもしれないが、議会も一致した対応が必要。



銀杏 泰利

議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

## 子ども医療費が無料に 鳥取砂丘を整備上質化

**問** ①小児医療費が4月から無料に②マリオットホテル進出で早急に対策を③砂防林の一部伐採と林の中の雑草駆除を本気でやるべき④砂丘全体を一大テーマパークに。

**答** ①公明党との協定書に署名。ここまで到達でき感謝②ハイエンド層向けのエッジを利かせたプロモーションをかける③景観上、適正な管理で除伐を進めている。西側も厚くなった松林を薄くする④ワーキンググループで砂丘の東側も含めて活発に議論中。国内外にアピールできる計画を再編成し事業展開する。



前田 伸一

議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

## こどもの権利、福祉避難所と仮設住宅の充実

**問** ①子どもの権利教育の取組は？②新たなこども計画策定の取組は？③医療的ケア児を受け入れる学校への看護師の配置支援を④福祉避難所の充実を⑤避難所での生活環境向上と速やかな仮設住宅の設置が可能なインスタントハウスの導入を。

**答** ①(教育長)子どもの主体的な議論と行動に繋がるシステムの充実を図る②ウェブ版子ども意見箱等で子どもの意見反映に努める③(教育長)国に補助率引き上げを要望中④充実について真剣に考える⑤市町村と情報共有したい。



福田 俊史

議員

選挙区 八頭郡  
会派 自由民主党

## 鉄道観光とまちづくり による地域活性化策

**問** ①若桜鉄道でのSLやDL機関車実走構想への県の支援は②人口減少下での懸念は買物環境と医療提供。若桜鉄道と因美線が交わる郡家駅を八頭郡の中核拠点化してまちづくりから課題解決しては。

**答** ①八頭事務所に再設置した地域振興部門を中心に鉄道旅など素材を生かした観光やまちの振興加速化に努めたい②郡家駅は一つのターミナルが形成されており周辺開発計画と結びつけて東部全体の広域的活性化の可能性も考えられる。町を主体に県としても参画できれば。



語堂 正範

議員

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

## 農家の所得確保・向上 についてどうか

**問** 農家と適正価格で取引された団体や事業者を県が認証する県版フェアトレードを検討してはと考えているが、次年度は県版フェアプライスプロジェクトを行うということもあり注視している。この取組は農家の所得確保・向上が目的である。知事は農業所得の確保に向け、どのような施策を考えるのか伺う。

**答** 県は、令和6年度に農業生産一千億円達成プランを見直す。収益性の高い農業の実現、担い手の経営基盤強化、ブランド化、農家の所得向上に向け支援を強化する。

**山川 智帆** 議員 

選挙区 米子市  
会派 無所属

**①淀江産廃の軟弱地盤**  
**②薬草栽培のススメ**

**問** ①住民は今まで仮定の話で説明されてきたが今回調査で軟弱地盤(想定地下水含む)が見つかったので、変更内容を再周知し県に調整頂きたい  
②薬草は無農薬で栽培するため無農薬推奨エリアを設定頂きたい。私権の制約があるが、行政に何とか取組の協力をお願いしたい。

**答** ①再周知するかどうかは廃棄物審議会に諮った上で考えるのが妥当②我々も対策を国に要求していきたい。私も可能な限り薬草の生産、販売、技術面などで協力をさせて頂きたい。

**河上 定弘** 議員 

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**①防災DX②ペット避難③障がい者アート**

**問** 災害時にIoT(ドローン、スマートグラス等)を積極的に活用してはどうか?

**答** ドローン応援隊を組織すると共に新年度予算で災害時のIoT活用を推進したい。

**問** 災害時のペット避難の更なる環境整備を行っては?

**答** ペットとの同伴専用避難所の開設など市町村の取組を支援したい。

**問** 生きがいや工賃向上に繋がる障がい者アートの取組を支援してはどうか?

**答** 新しい風を吹かせる障がい者アートなどの取組をぜひ推し進めたい。

**前住 孝行** 議員 

選挙区 八頭郡  
会派 無所属

**①災害時の情報共有**  
**②QRコード活用推進**

**問** ①防災関係機関との情報共有について、情報共有システムの活用を検討しては?②QRコードを活用して観光情報を提供するなどの仕掛けを支援しては?

**答** ①県の情報端末を関係機関に置いてもらい、同じ情報を見て一緒に判断したり、情報を入れていただいたりすることで、理論的にはできるのではないかと思う②今はスマートフォンを持って歩く世の中なので、これを活用して観光地を思う存分楽しめる情報を得やすくすることは考えていく必要があると思う。

**市谷 知子** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**島根原発、精神障がい、淀江産廃、智頭町有林**

**問** ①穴道断層で米子・境港の建物被害32000棟。日本海沖F55断層で津波死傷者260人、鳥取・米子・境港の建物被害46000棟、断水20万人の想定。屋内退避可能?指針見直しは屋内退避前提で来年3月。中電に8月島根原発再稼働待てと言って②精神障がい者JR・タクシー割引の助成③4割も軟弱地盤の淀江産廃計画変更書を知事見たのか④智頭町有林の予算透明性確保。

**答** ①安全確認し意見言う②しない。交通機関に働きかける③事務方で確認。廃棄物審議会で議論頂く④動向を注視。

**尾崎 薫** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 会派民主

**防災について**  
**鳥取駅周辺再整備**

**問** ①能登のような複合災害は不安。知事は代表質問で「島根原発はまだ手続きが残っている。安全が前提」と答弁。安全が確保されるまでは原発再稼働への賛同はないか?②大洪水から村を守った気高の中原政太郎の顕彰を③鳥取駅周辺再整備についての所感を。またそこに市の美術館機能が出来れば支援を望む。

**答** ①慎重に安全第一義で意見は引き続き言っていく②(教育長)先人に学ぶ事は重要。教材化できるか研究する③市構想には今までにない発想がある。応分の支援をする。

**前原 茂** 議員 

選挙区 米子市  
会派 公明党

**児童福祉施設の現状と課題について**

**問** 厚労省の調査では、児童養護施設の子もたちの大学・専門学校への進学率が一般家庭の子もたちより低い状況であり、教育の機会が生まれた環境で制限されるようなことはあってはならないと思うが、知事の所見を伺う。

**答** 鳥取県では、児童養護施設に対して、平成20年よりアフターケア事業を行ってきた。子どもたちの進学や就職では、住宅の問題など、丁寧に対策を取っていかねばならない。こうした様々な事業を今後も現場主義で展開をしていく必要がある。

 **中島 規夫**  
議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**災害（地震）対策と  
危機管理体制の強化**

**問** ①震災後の上下水道の復旧は必須であるが、防災体制の強化として上下水道の耐震化への対応は。今後の災害廃棄物への対応は②防衛が必要視される中、自衛隊員の不足は災害への十分な備えになっていないのでは。

**答** ①耐震化は重点的・強力に国要望を展開したい。災害廃棄物の市町村計画の支援と共に、県計画の見直しも考えたい②自衛隊の責務から、募集についてはしっかりと使命を果たしたい（教育長）自衛隊の大切さや重要性が伝わるキャリア教育をより推進したい。

 **東田 義博**  
議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**鳥取県の森林・林業の  
取組について**

**問** 皆伐再造林の取組、杉花粉発生源対策、県産材活用の促進、高性能林業機械の導入支援、スターリンク（※2）の導入、スマート林業の推進について伺う。

**答** 皆伐再造林は各種支援を上乗せして取り組む。エリートツリーを伸ばして花粉を減らす。県産材を住宅に利用拡大するための加算措置を行う。高性能林業機械の導入支援については国の予算確保に努める。スターリンクの実用化にレベルを上げる。スマート林業については研修や育成を行って転換を図る。

 **鳥羽 喜一**  
議員

選挙区 倉吉市  
会派 自由民主党

**桜相撲の振興とバカロ  
レア中高一貫校の新設**

**問** ①46年続く桜相撲は伯桜鵬関の輩出など本県相撲文化の醸成に繋がっているが「すもう県」として桜相撲の取組を推進できないか②バカロレア（※1）は中高一貫の指導体制が高い教育効果を発揮すると先進校では言われているが、本県においても中高一貫を検討できないか。

**答** ①ジュニアの育成という観点からも桜相撲を応援していきたい②（教育長）中高一貫のメリットは非常に大きい。今後の高校の在り方の検討の中で、バカロレアの中高一貫についての研究を進めていく。

 **鹿島 功**  
議員

選挙区 西伯郡  
会派 自由民主党

**観光振興と観光資源の  
活性化について**

**問** ①大山開山1300年祭では、西部地域が連携し、観光振興に取り組んだ。今後も西部地域が連携できるよう、県に支援していただきたい②地元にある「いいもの」を観光資源として、発掘して磨き上げていきたいがどうか。

**答** ①西部でもDMOをつくらせようと働きかけたがまとまらなかった。県として今後も後押しする②新年度、とっとりリアル・パビリオンとして登録し、時期ごとにお客様と地域を結びつけながら、鳥取県全体を観光地としての磨き上げをしていくことを提案した。

 **安田 由教**  
議員

選挙区 境港市  
会派 自由民主党

**あいサポート運動の普  
及・弓浜半島の防災**

**問** ①あいサポート運動のさらなる普及のために企業活動と連動させるような誘導策を②境港魚市場の外部電源損傷対策は③震災時に竹内南岸壁を活用するため道路整備は④県消防学校施設・設備の更新を急ぐべき。

**答** ①企業の意見を聞き、よりよい形で発展するよう検討する②緊急復旧の必要性があるか考える③岸壁から431号までの臨港道路を第1次緊急輸送道路として位置付けるよう至急検討する④指摘の通り非常に重要な施設である。現場の声を聞き進捗を図る。

 **広谷 直樹**  
議員

選挙区 岩美郡  
会派 自由民主党

**将来人口推計について  
山陰海岸ジオの再認定**

**問** ①推計人口が公表された将来どのような社会になるのかを考える必要があると思うが②今夏の再認定審査は重要で厳しい審査になるが、再認定に向けての取組は。

**答** ①30年先の未来を見つめ直す戦略づくりを11月補正で事業化し、今年3月キックオフの会合を持った。若者世代の多岐、多様な意見が出ており新しいビジョン作りも着手している②当然グリーンを目指していくが、クリアしなければならない課題は簡単ではない。再認定に向けて関係府県と力を合わせていく。

（※1）バカロレア…国際的な視野を持った人材の育成を目的に、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。  
（※2）スターリンク…低軌道の衛星を用いたインターネットアクセスサービス。

**浜田 妙子** 議員 

選挙区 米子市  
会派 会派民主

**①青谷上寺地遺跡  
②犯罪被害者総合支援**

**問** ①今春オープンの新青谷上寺地史跡公園の意味と意義。史跡活用で学ぶ子ども達の要望を聞き教育環境整備の財政支援を願う②知事部局に犯罪被害者総合サポートセンターが新設。全国に先駆け県警や犯罪・性暴力の民間支援が組込まれる。どの様になり活用されるか問う。

**答** ①地下の博物館と云われ出土品が多く考古学を変えて行くだろう。地域一体型の公園を考えている。教育予算もサポートする②事件が起きた時から寄り添う。その体制を作らねばならない。

**内田 隆嗣** 議員 

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**県立高校における県外生徒の受入れについて**

**問** 中学校卒業見込み者数が令和5年5,000人から令和21年3,500人と1,500人も減少する。現在の県立高校の定員をできるだけ維持しながら、教育の質を確保し、財政的にも持続可能性を高める方法としても、県外生を積極的に受け入れるべきと考えるがどうか。

**答** (教育長) 県外から生徒たちを呼び込むというのは同感。各地区におけるそうした寮の設置も含めて、住環境整備に積極的、前向きに取り組を進めてまいりたい。

**西村 弥子** 議員 

選挙区 米子市  
会派 会派民主

**①レッド区域②防災公園③難病支援④インド**

**問** ①土砂災害レッド区域内住宅建替等広報周知しては②新体育館と東山公園一帯を防災公園として有効活用すべき③難病は理解が得にくい。フォーラムを開催し県民理解を深めては④人材不足の本県と人口世界一で就職難のインドとの人的交流を進めては。

**答** ①耐震改修・強化補助・NE-S Tを組合せ助成可能。周知したい②恐らく米子市も防災公園に展開。県も広域防災拠点計画で考えたい③関心高めるため開催したい④議員の活動の成果も活かしIT人材等の交流をめざす。

**会派正式名称**

【自由民主党】  
鳥取県議会自由民主党

【会派民主】  
会派民主

【公明党】  
公明党鳥取県議会議員団

**答弁者説明**

答弁者は、記載のないものは知事(各部局長の答弁も含む)。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

**議員の失職について**

藤縄喜和氏(鳥取市選挙区)が2月15日付けで議員を失職しました。

**内田 博長** 議員 

選挙区 日野郡  
会派 自由民主党

**中山間地域の農林業**

**問** ①所有者不明農地の利活用を促進するための制度周知を図り、より活用しやすい制度になるよう改善を求める②今後、更なる農地集約化に向けて、農地中間管理機構の活動を県として支援してほしい。

**答** ①森林経営計画のような使い勝手のよい仕組みに改善を求め、政府への要請活動も継続していく②人・農地プランの後継事業により話し合いをやっているが、将来にわたる集落の在り方を重点的に、地元市町村や農業関係者と一緒に話し合いを強化していく。

**福浜 隆宏** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**①デジタルツイン②シカ肉利用③保育士免許**

**問** ①現実世界のデータを仮想空間で再現し、シミュレーションを可能にするデジタルツイン技術をあらゆる分野に導入を②シカ肉ブランド化に向けて、捕獲数が若桜・智頭・八頭より多い鳥取と岩美ではほとんど食肉化されていないため施設整備を③子育て支援員が保育資格を取得しやすくなるよう優遇措置の検討を。

**答** ①コストが課題だが、市町村と共同のICT推進協議会で可能性を協議②せっかくの資源。関係先と相談する③実技試験免除が可能な特区エリア拡大など国に要請したい。

## 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

### 総務教育常任委員会



#### ◎2月定例会審査結果（議案）

令和6年4月に開校する初の県立夜間中学校「まなびの森学園」の管理運営費、県内市町村のデジタル行財政改革を支援するための経費などを含めた「令和6年度鳥取県一般会計予算」のほか、鳥取市選挙区県議会議員補欠選挙の執行経費「令和5年度一般会計補正予算（第8号）」の専決処分、台風7号災害からの復旧に必要な建設技術人材の確保を図るため、60歳を超えても勤続する場合の時限的特別措置を設けた「職員の給与に関する条例」の改正など21議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

### 福祉生活病院常任委員会



#### ◎2月定例会審査結果（議案）

令和5年度一般会計補正予算等の先議議案3件、及び令和6年能登半島地震で木造住宅が多数倒壊したことを踏まえた耐震化の働きかけや耐震診断、耐震改修等に係る費用の一部を支援する事業のほか、子どもの医療費を無償化する事業、救急車を呼ぶか医療機関を受診すべきか迷った際に相談できる「とっとりおとな救急ダイヤル（#7119）」・「とっとり子ども救急ダイヤル（#8000）」を24時間365日実施する事業、中山間地域を支える医師などの人材確保に向けた事業などの令和6年度一般会計予算等16議案について慎重に審査をした結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 農林水産商工常任委員会



【半導体企業TSMCの工場建設地視察（菊陽町）】

#### ◎2月定例会審査結果（議案、陳情）

昨年8月の台風第7号による小鹿第一発電所の各取水施設の被害により、県営水力発電所の公共施設等運営権の設定時期を当初議決から半年間延期するよう求める議案第58号や、新年度予算など19件の議案の審議を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。また、新規提出の陳情1件を審査し、不採択と決定した。

#### ◎県外調査（2/6～8：熊本県、鹿児島県）

熊本県では半導体産業の推進・誘致状況や高所得層・インバウンド誘客のための飲食店のレベル向上策等について、鹿児島県では宇宙ビジネス推進の取組状況やフラワーパークの集客策、指定管理制度の運用状況等を調査した。

### 地域県土警察常任委員会



【国際クルーズ拠点形成の取組を視察（那覇市）】

#### ◎2月定例会審査結果（議案）

能登半島地震の教訓を踏まえた地震・津波対策をはじめ、災害に強い道路ネットワークの構築、買物環境・地域交通などの課題解決支援、ねんりんピック鳥取大会の開催経費等を含む「令和6年度鳥取県一般会計予算」など18議案について慎重に審査を行い、全て原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

#### ◎県外調査（2/6～8：沖縄県）

コロナ禍を経てインバウンド需要が回復する中、訪日外国人の地方誘客が課題となっていることを踏まえ、2月に沖縄県を訪問し、那覇港における官民連携による国際クルーズ拠点形成の取組などについて、調査・意見交換を行った。

## 令和6年2月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
②	令和6年度鳥取県用品調達等集中管理事業特別会計予算	可決
③	令和6年度鳥取県公債管理特別会計予算	可決
④	令和6年度鳥取県給与集中管理特別会計予算	可決
⑥	令和6年度鳥取県母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決
⑦	令和6年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計予算	可決
⑧	令和6年度鳥取県就農支援資金貸付事業特別会計予算	可決
⑨	令和6年度鳥取県林業・木材産業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑩	令和6年度鳥取県県営林事業特別会計予算	可決
⑪	令和6年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計予算	可決
⑫	令和6年度鳥取県沿岸漁業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑬	令和6年度鳥取県港湾整備事業特別会計予算	可決
⑭	令和6年度鳥取県収入証紙特別会計予算	可決
⑮	令和6年度鳥取県県立学校農業実習特別会計予算	可決
⑯	令和6年度鳥取県英奨学事業特別会計予算	可決
⑰	令和6年度鳥取県営電気事業会計予算	可決
⑳	令和6年度鳥取県営埋立事業会計予算	可決
㉑	令和6年度鳥取県営病院事業会計予算	可決
㉓	令和5年度鳥取県公債管理特別会計補正予算（第1号）	可決
㉔	令和5年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉕	令和5年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉖	令和5年度鳥取県県営林事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉗	令和5年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉘	令和5年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算（第2号）	可決
㉙	令和5年度鳥取県英奨学事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉚	令和5年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第3号）	可決
㉛	令和5年度鳥取県営工業用水道事業会計補正予算（第3号）	可決
㉜	令和5年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第4号）	可決
㉝	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
㉞	鳥取県障害福祉サービス事業に関する条例及び鳥取県障害者支援施設に関する条例の一部を改正する条例	可決
㉟	鳥取県居宅サービス事業及び介護予防サービス事業に関する条例等の一部を改正する条例	可決
㊱	鳥取県薬物の濫用の防止に関する条例等の一部を改正する条例	可決
㊲	子育て王国とっとり条例の一部を改正する条例	可決
㊳	鳥取県婦人保護施設に関する条例の一部を改正する条例	可決

議案等番号	件名	議決結果
㊴	鳥取県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊵	土地収用法等に基づく鑑定人及び参考人の旅費及び手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊶	鳥取県漁港管理条例の一部を改正する条例	可決
㊷	財産を減額して貸し付けること（鳥取バスターミナル用地）について	可決
㊸	財産を減額して貸し付けること（(元)境水産高等学校情報事務科棟の建物及び周辺用地）について	可決
㊹	財産を無償で貸し付けること（(元)皆生温泉公園）について	可決
㊺	財産を無償で貸し付けること（(元)鳥取農業高等学校校実習農園）について	可決
㊻	損害賠償の額の決定について	可決
㊼	権利の放棄について	可決
㊽	土木その他の建設事業の施行に伴う市町村負担金について改正する議決の一部改正について	可決
㊾	個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について	可決
㊿	情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について	可決
①	情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について	可決
②	鳥取県町村総合事務組合と鳥取県の間における情報公開条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について	可決
③	包括外部監査契約の締結について	可決
④	鳥取県税条例及び合衆国軍隊の構成員等の所有する自動車に対する自動車税の徴収の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑤	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
⑥	鳥取県児童福祉施設に関する条例及び鳥取県障害児通所支援事業及び障害児入所施設に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑦	鳥取県病院局企業職員定数条例の一部を改正する条例	可決
⑧	専決処分の承認について	承認
⑨	鳥取県監査委員の選任について	同意
⑩	鳥取県教育委員会教育長の任命について	同意
⑪	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
⑫	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意
⑬	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意
⑭	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意
⑮	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意
⑯	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意
⑰	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意
⑱	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意
⑲	鳥取県議会における情報通信技術の活用の推進に関する条例	可決
⑳	鳥取県議会会議規則の一部を改正する規則	可決

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案



# 令和6年2月定例会付議案等議決結果

## 賛否が分かれた議案及び否決された議案

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます →



自由民主党

語堂 正範	東田 義博	入江 誠	河上 定弘	鳥羽 喜一	川部 洋	中島 規夫
----------	----------	---------	----------	----------	---------	----------

議案等番号	件名						
①	令和6年度鳥取県一般会計予算	○	○	○	○	○	○
⑤	令和6年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○
⑰	令和6年度鳥取県天神川流域下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○
⑲	令和6年度鳥取県営工業用水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○
⑳	令和5年度鳥取県一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○
㉓	鳥取県特定個人情報利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉔	鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉖	鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉗	鳥取県営土地改良事業分担金等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉘	鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉙	鳥取県警察手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉚	工事請負契約(国道313号(北条倉吉道路延伸)橋梁上部工事(本線橋(仮称))(補助改良))の締結について	○	○	○	○	○	○
㉜	事業契約(鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所靴町庁舎整備等事業)の締結についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○
㉝	事業契約(鳥取県立美術館整備運営事業)の締結及び公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立美術館)についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○
㉞	公共施設等運営権の設定(鳥取県営水力発電所)についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○
㉟	鳥取県職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㊱	鳥取県行政組織条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㊲	鳥取県監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告					
陳情6年-1	いわゆる裏金問題の再発防止について	不採択	○	○	○	○	○
陳情6年-2	食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情	不採択	○	○	○	○	○
陳情6年-3	能登半島地震を踏まえて「原子力災害対策指針」及び「地域防災計画・広域住民避難計画」の見直しと、中国電力に対して島根原発2号機の「再稼働の了解」を一旦撤回することを求める陳情	不採択	○	○	○	○	○
陳情6年-4	政党助成金の廃止を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○
陳情6年-5	企業・団体献金の廃止を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○

**【凡例】** 議案等番号…○数字は知事提出議案  
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長  
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。



# 特別委員会の活動報告

## 人口減少社会問題調査 特別委員会

本県では、令和5年4月時点の推計人口が54万人を割り込むなど、人口減少傾向に歯止めが利かない状況にあります。買い物環境や生活交通の課題、中山間地域の集落機能や子育て環境の維持、担い手の減少に伴う農林水産業の衰退や地域経済の成長力低下、雇用機会減退につながる悪循環など、人口減少社会が抱える問題がこれまで以上に深刻化していることから、本県の将来を左右する重要な課題として調査検討するため本委員会が設置されました。

令和5年度は本県の人口減少状況とその影響、県の取組について認識を共有し委員間で意見交換を行いました。今後は人口減を緩和させる少子化対策や移住促進策のほか、人口減を受け入れつつ持続可能な地域社会の構築と県民福祉向上について調査検討を深めていきます。

## 議員定数等調査検討 特別委員会

本県議員の定数及び選挙区については、平成23年に、それまでの定数38人から35人へ削減されて以来、10年以上見直しが行われていません。一方で、この間、県民人口は大きく減り続けており、前回、議員定数を見直した時から1割以上も減少している状況です。

このような状況を受け、また、議員定数等の見直し検討が前議会からの送り事項でもあったことから、昨年6月に議員の定数等を調査検討する特別委員会が設置されました。

現在、調査検討結果の中間報告を行うことを目指して、16名の委員が活発な議論を行っています。県民の理解と納得が得られる見直しを導き出すことが、県議会に与えられた責任と受け止め、引き続き、慎重かつ丁寧に議論を尽くしていきます。

information

## 県議会からのお知らせ



### 6月定例会の日程案

期 日	日 程
6月12日(水)	本 会 議(開会・提案理由説明)
13日(木)	常任委員会
14日(金)	本 会 議(代表質問)
18日(火)	本 会 議(一般質問・質疑)
19日(水)	
21日(金)	
24日(月)	
26日(水)	
27日(木)	
7月1日(月)	常任委員会 特別委員会
2日(火)	特別委員会
3日(水)	本 会 議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。  
※ 午前10時開始の予定です。



### パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは  
こちらから→



### みなさまへ

2月定例会は能登半島地震をふまえ、防災についての議論が活発に行われました。「とっとり県議会だより」では、要点しか掲載できません。是非、議会傍聴、テレビ・インターネット中継、録画ビデオをご覧いただき、県民皆様のご意見をいただければ幸いです。

(広報委員 H)